

【質問】 東地区の説明会ではどのような意見が出ましたか。

【回答】 東地区も参加者が少なかった。東地区は東中学校の統合となりますので意見は少なかった状況です。

【質問】 質問ではありませんが、意見として、事前に計画について説明していただけるのはありがたい。また、将来の人口や、市のお金も含めて何年も前から説明していただけるのは良い。子供たちの目線で考えると吸収合併になってしまったときに、地域に子供たちの集える場所が必要。ただ学校がなくなってしまうだけでは地域の方が納得するのは難しい。統合するのは致し方がないし、リソースを考えれば東に行かざるを得ないことも理解できるが、住民としての感情をくみ取っていただきたい。将来子供たちが戻ってきたときに集まれる場所、コミュニティを作っていただきたい。丁寧に進めていっていただきたい。

【回答】 貴重なご意見ありがとうございます。市といたしましても本当は学校を全部残していきたいと思っております。しかしながら、このままいくとすべての学校で1クラスになってしまいます。それでは子どもたちのより良い教育環境とはならないとの考えにたち、この案をお示ししているところでございます。また、将来、子どもたちが戻ってきた時に、抛り所になる場所は大切でありますので、市としても対応していきたいと考えております。

【質問】 過去に桜川小学校に統合した際に、阿波、古渡、浮島の3小学校のPTA会長で話し合いをしました。その中で出た意見の中に3校の校章校旗などを含め小学校の歴史を残すことがございました。小学校はどういう場所かと考えると、自分たちの故郷の勉強をする場所。そういった配慮をお願いしたい。吸収された学校から行った先生から聞いた話であるが、吸収した学校の先生から、うちはこうやっているのだから、こうやって。と言われたことがあった。それは子どもたちも一緒であり、そういったことが無いよう、桜川の子たちが東中学校に行った際にも教育委員会がしっかり管理、指導を行っていただきたい。これを約束していただきたい。

【回答】 桜川小学校に旧三小学校の伝統が生きていると思います。今回の計画案は、市内の8つの小学校のうち6つの学校が統合していく案となっております。その統合される学校の伝統は統合先になる学校に引き継いで行けるように、しっかりと教育委員会でも監督していきたいと考えております。もう一点は子どもたちの話でございますが、今回は東中学校敷地に小学校と中学校を併設した学校を開設したいと考えておりますが、吸収合併ということではなく、新設統合と同じように考えていくことを、学校の先生や子ども達にお願いしていきたいと考えています。統合準備会で交流授業を実施するなど、なるべく子どもたちに負担がない統合を実施していきたいと考えています。

【質問】 8年後9年後の話ですので、教育委員会はしっかりと引き継いでください。

【回答】今日の意見交換会は議事録としてしっかり記録しますので、本日出席しています職員が異動したとしても、しっかりと記録を残し引き継いでいきたいと思えます。

【質問】先ほどの説明の中で、桜川小学校の統合については平成21年の計画で本当は令和元年に統合する予定が令和3年になったとの話がありました。普通の企業だったら中長期の見通しをたてるなどしている。この小学校は建てて5年、建てる前に人口など分かっていたのではないか。先ほど浸水想定の話があったが、市のハザードマップを見ると東中学校周りの浸水想定は3メートルから5メートルになっている。安全面を検討して対応するとあったが東中学校の敷地を浸水対策しても、その時子供たちを迎えに行けないのではないかと考える。陸の孤島になってしまうのではないか。もし学校に取り残されてしまった場合はどう迎えに行くのか。桜川小学校だったら高台で安心なので、なぜ浸水被害が想定される場所に行かなくてはならないかとの不安がある。利根川以外にも新利根川や横利根川などほかにも河川がある。そこまで考えられているのか。西部、東部の説明ですが、桜川地区は必ず東部地区に行かなければならないのか。学校は二つでもいいが東地区より江戸崎地区が近い、職場が江戸崎地区、新利根地区などの場合、江戸崎に通えないのか。近いところを選べる選択は無いのか。統合はどうしようもないと考えている。近所に子どもたちの集まる場所がなくなっている。そういった場所も確保していただきたいと考えている。年齢にかかわらず集まる場所があるといい。学校がなくなると避難場所はどうするのか。学校の建物は残していただきたい。

【回答】前回の計画は10年の期間でありました。この計画の人口推計では令和2年度の小学生の児童数は2,000人程度であったが、現在、小中学校合わせて2,000人程度となっている。少子化の進行は当時の推計より進行が速かったのは事実であり、計画の見直しを行わなかったのは、市としての反省材料であります。

今回の計画は5年ごとに計画を見直すものとなっており、改善を図るつもりでいます。しかしながら、学校を建設するには意見集約に4年、建設に3年と、合わせて7年かかることから、桜川小学校の建設については、この7年間で想定外の出生者数の減少が起きてしまいました。東地区の新設小学校の建設についても、著しい出生者数の減少などにより事業を断念したところでございます。今回はそのようなことが無いように5年ごとの見直しを実施することとしております。

東中学校の場所については、確かに中学校周りの浸水想定は3メートルから5メートルとなっています。東地区の統合小学校を計画していた時にも取り残されたらどうするのかという意見はたくさんございました。利根川が決壊した場合でも学校まで水が到達するまでの時間があります。万が一、取り残された場合には、上層階に避難することで安全を確保することはできます。

また、学区に関しては中々難しい状況があります。どこかで線を引くしかないと思えますので、良い方法を検討していきたいと考えています。

集まる場所に関しては、閉校となる校舎などの有効利用を考えてまいります。

【質問】 小学校と中学校を同じ敷地にとの説明がありましたが、美浦中学校がまさにそのような感じで、近年、中高一貫の学校もできているので、江戸崎総合高校は中高一貫になったりしないのですか。増々中学生が減ってしまうのではないですか。

【回答】 おっしゃるとおり、公立、私立を含め中高一貫校は増えてきていると思います。中高一貫校になりますと管轄が県になりますので、市教育委員会としましては、義務教育学校などについては検討できますので、その辺もしっかりと検討していきます。

【質問】 東中学校に行くことは反対の意見ですが、桜川から東に行くことは人数が増えた中で勉強ができるメリットがあるのでしょうか、ハザードエリア内の学校に高台の安全な場所から行くことには抵抗感があります。新しい学校から古い学校に行くこともメリットが感じられません。その中でも安全面ですが、検討委員会に中では、ハザードエリア内の学校にするという方針に決めるうえで、メンバーの中で話が出ましたか。垂直避難させるという話でありましたが、学校周辺は5メートルの水があり、保護者が迎えに行けないのではないですか。

【回答】 浸水想定エリア内の学校に統合することを懸念する意見は出ておりました。しかしながら、今回は学校の適正規模を保つために、まず計画案を立てさせていただきました。東中学校と桜川中学校を比較し、子どもたちの通学時間や建設費用などを含め総合的に判断した結果、東中学校ということになりました。

【質問】 説明会の告知が少なかったと思います。また、資料も見づらかったと思います。桜川の3小学校を統合して高台の安全な場所に建設したことを考慮してもらいたい。今回の意見交換会の告知を学校を通じてやらなかったことや未就学児の保護者などにも通知していなかったこと。そして、これから出産を控えている人などにも告知するべきだったと思います。また、このように集めることだけでなく、アンケート形式で記入して意見をできる方法などを考えてもらいたい。

【回答】 周知方法や周知する範囲については、ご意見を参考に検討してまいりたいと考えています。

【質問】 統合後の跡地はどのように利用する予定ですか。

【回答】 桜川小学校を含めて、閉校となる学校施設の利活用は教育委員会だけではなく市役所全体で考えていきたい。

【質問】 防犯も含めた安全面は最大限配慮してほしいと思います。また、東中学校の浸水対策をもっと具体的に説明してほしい。

【回答】子どもたちの安心・安全は最重要事項でありますので、しっかり検討し、対応していきます。

【質問】東中学校は新築ではなく、不足分の増改築費だけで済むのですか。建物が古いので改修費や敷地周りの浸水対策、アクセスする橋の対策など、他にかかる費用をあえて見なくしているのではないですか。

【回答】計画を策定中であり、あまりに急激に出生者が減ったため、新築で校舎を建設することはリスクだと判断をしました。予算をかけたとしても、完全な災害対策になるとは限らないので、早い段階でより良い学習環境を整えたいと考え、既存の校舎を最大限に有効に活用した増築する案としたところであります。

【質問】資料8番に「意見交換会でのご意見」の項目に、赤字で「命を守ることが最優先」と書かれているが、お金をかけて安全対策をしているであろうに、ハザードマップでは浸水想定区域となっている東中学校に避難するのは矛盾しているように思うので、その点において納得いく形で進めてほしい。

【回答】今回は総合的に判断しました結果、東中学校が適すと考えていますが、今後検討させていただきます。

【質問】未就学児のいる保護者向けへのお知らせはどのようにしたのか。

それから、学校再編によるデメリットへの妥協点を提示していただきたい。

【回答】未就学児のいる保護者への書類通知やリーバーによる通知などを行いましたが、未受領の方への確認が不十分でありました。

学校再編によるデメリットへの妥協点に関しましては、今後も意見交換会を開催する予定でありますので、今回の会議で出ました意見も含めて協議していきたいと考えています。

【質問】地域の意見を聞くというのは、どういった方法で行うのか。

【回答】意見交換会の他にも何か良い方法はないか模索していきます。

【質問】東中学校と桜川中学校の増設費を比較すると、5億円と33億円という説明でしたが、東中学校と桜川小学校の増設費の比較はどうか。東中学校の増設した部分を小学校に充てるのか、それとも敷地内に新たに建てるのか。

【回答】桜川中学校の増築費は、子どもの数から教室数を算出しますと、小学校1校を新たに建設することになりますので、33億円としております。東中学校は不足する教室を増築するとの考えから5億円としたものであります。桜川小学校敷地を活用した場合でも中学校1校を新築する必要があると考えています。

【質問】東中学校に小学校を増設する等の工事費用を考えると、桜川中学校に増設するのとあまり変わらないのではないですか。ハザードマップを見ると安全に不安が残る東中学校に、桜川の子どもたちを通わせることが疑問であります。

【回答】先ほどご説明いたしましたとおり、増築にかかる費用につきましては、東中学校の方が費用は低額であります。しかしながら、おっしゃるとおり、東中学校の安全に不安が残るというご意見もありますので、今後、検討してまいります。

【質問】学校再編の計画は東西の2拠点であるということが大前提になってしまうのは仕方ないのでしょうか。段階的に統合していくことはできないのでしょうか。そうすれば増築しなくても入れるのではないのでしょうか。

【回答】基本的なスケジュールはどうしても作らざるを得ないと考えております。この計画は、出生者数や児童生徒数を勘案し見直しを行っていく予定であります。統合時期については、各学校の実情や保護者・地域の方の意見を頂き、柔軟に対応してまいります。

【質問】スクールバスに関してはどうなるのですか。

【回答】できる限りバスの本数を増やして対応していきたいと思っております。

【質問】市を東西の2拠点に分けて中学校に小学校を建設すると説明でありましたが、桜川地区は、小学校と中学校を別々に考えることはできないのですか。

【回答】教育委員会の案としては、東中学校に小中学校を配置したほうが良いと考えています。しかしながら、桜川地区の方を無理やり東中学校へ統合させようとは考えてはいません。当然、統合前には桜川地区の皆様の意見を聞きながら統合を進めていくようになります。

【質問】「命を守ることが最優先」を踏まえると、個人的には東中学校ではなく江戸崎中学校に行かせたいと思うが、それは不可能なのですか。

【回答】将来的に統合を検討し始めた時に、桜川地区の皆様が反対というのであれば無理に東中学校に統合することはないと思います。そして、桜川地区の方々が江戸崎方面に行きたいと言っても、それを絶対に不可能ということもないだろうと考えています。あくまでも計画を策定するうえで基本的なスケジュールとしてお示しをしております。また、このようなベースになるものがないと見直しも検討もできませんので、現時点においては、本市の学校を東西2拠点にするといった考えを基に、東部地区の学校の拠点としては、東中学校敷地が適しているのではないかという考えであります。

【質問】1学年が2クラス以上あった方がいいのは理解するが、学校に近いところで暮らし

たい。学校が遠いのであれば子育てがしづらいので転出してしまうとの考えもあるのではないか。稲敷市の人口減少対策と一緒に考えた方が良いのではないか。

【回答】おっしゃるとおりであると思います。できれば桜川小学校を含め市内の学校を1校も閉校させることなく、すべての学校を存続していければ子育て施策にも繋がる可能性があると考えます。学校を統合していくことは人口減少対策に逆行していくことになるとも考えております。しかしながら、今いる子どもたちの教育環境を改善していかなければならないという思いで、今回の案を示させていただいております。